

## 新「大阪府化学物質適正管理指針(仮称)」骨子に盛り込むべき事項

1.管理の改善のための具体的目標の設定

リスク評価を参考とした優先度の設定が重要

リスク評価の実施手順

化学物質の有害性の特定

化学物質のばく露の可能性の特定(排出量、排出形態等を勘案)

及び に基づくリスクの見積り

見積もられたリスクに応じた優先度の設定

優先度を踏まえて費用対効果を勘案した目標の設定

リスクの見積り及びそれに応じた優先度の設定方法の例(別紙)

・ マトリクス法

・ 数値化による方法

リスク評価に基づく目標設定の手順ごとに内容の記録と保存

2.検証・評価・見直しの方法・手順・体制

検証・評価は、少なくとも1年に1回、定期的を実施

目標の達成状況を客観的に評価できるよう可能な限り数値目標を設定

P D C Aサイクルを効果的に機能させるためには適切な評価基準の設定が重要

・ 評価基準は計画の見直しについて判断する基準とする。

検証・評価に関する記録と保存

## リスクの見積り及びそれに応じた優先度の設定方法の例

## マトリクス法

		有害性の程度			
		発がん性・ 変異原性・ 生殖毒性	強度の毒性	中程度の 毒性	軽度の毒性
ばく露の 程度	極めて大きい	5	5	4	3
	大きい	5	4	3	2
	可能性あり	4	3	2	1
	ほとんどない	4	3	1	1

リスク	優先度	
4～5	高	直ちに管理の改善を実施 十分な経営資源の投入が必要
2～3	中	速やかに管理の改善を実施 優先的に経営資源の投入が必要
1	低	費用対効果を勘案してリスク低減対策を実施 計画的な経営資源の投入が必要

## 数値化による方法

## ・有害性の程度

発がん性・変異原性・ 生殖毒性	強度の毒性	中程度の毒性	軽度の毒性
30点	20点	7点	2点

## ・ばく露の程度

極めて大きい	大きい	可能性あり	ほとんどない
20点	15点	7点	2点

## ・リスク = 有害性の程度 + ばく露の程度

リスク	優先度	
30点以上	高	直ちに管理の改善を実施 十分な経営資源の投入が必要
10～29点	中	速やかに管理の改善を実施 優先的に経営資源の投入が必要
10点未満	低	費用対効果を勘案してリスク低減対策を実施 計画的な経営資源の投入が必要